

特別見学通路周辺の石材回収工事



地蔵門石垣崩落石材回収
奥は大天守 (令和元年7月12日)



地蔵門石垣崩落石材回収
奥は二様の石垣 (令和元年7月24日)



地蔵門石垣崩落石材回収
(令和元年7月26日)



西櫓御門崩落石材回収
奥は数寄屋丸二階御広間 (令和元年6月13日)



二様の石垣南側石垣崩落石材回収
奥は二様の石垣 (令和元年6月8日)

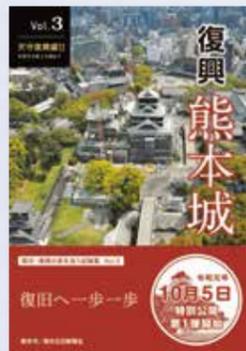


モルタル吹きつけによる安全対策工事
奥は二様の石垣 (令和元年6月21日)

特別公開第2弾ルートとなる、特別見学通路周辺の崩落石材回収を行いました。石材回収後は、安全対策工事を行っています。

*写真の日付は撮影日

『復興熊本城Vol3 天守復興編Ⅱ』書店にて発売中です!



平成28年(2016)の熊本地震によって甚大な被害を受けた熊本城の記録集を、定期的に発行します。Vol3では、昭和35年(1960)の天守再建工事から落成までの様子や、昭和・平成の鯨瓦の製作、令和元年度上半期までの復旧の様子などを収録しました。熊本県内の書店などで発売しています。

熊本県立美術館 本館

熊本城大天守外観復旧記念

熊本城と武の世界 (2019年10月26日～12月15日)
熊本城の歴史と加藤家、細川家ゆかりの甲冑や刀剣などの名品を紹介。勇壮な「武」の世界をお楽しみいただけます。

◆その他下半期の展覧会

- ・名作浮世絵の世界 (2019年9月10日～10月20日)
- ・勇姫 (2019年10月22日～12月15日)
- ・大名細川家の茶道具と大観、春草 (2020年1月8日～3月22日)

熊本市中央区二の丸2番 096-352-2111
開催時間など詳細はホームページまで



《白檀塗蛇の目紋時給仏願具足》
加藤清正所用 本妙寺蔵



熊本博物館



熊本明治町並図屏風(有)文林堂所蔵

熊本城特別公開記念

追憶の熊本
—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—
(10月5日～11月24日)
熊本出身の画家・甲斐青萍が描いた町並図を中心に、熊本城下の歴史の変遷を辿ります。

2019年度下半期の展覧会

- ・生命のれきし—君につながるものがたり— (12月3日～2020年1月26日)
- ・学校を飛び出した先生、熊本に来る—民俗学者・宮本常一と昭和の宿題— (2020年2月8日～3月22日)

熊本市中央区古京町3-2 096-324-3500
開館時間など詳細はホームページまで



熊本城ミュージアム わくわく座



日程：10月5日(土)～11月30日(土)：プロジェクト第1弾 石垣
12月7日(土)～1月26日(日)：プロジェクト第2弾 瓦
2月1日(土)～3月29日(日)：プロジェクト第3弾 櫓・天守
来春開催予定：スペシャル編
内容：熊本城復旧に携わる人や復旧工事について、わかり易く紹介します。第1弾～第3弾までパネル展示や講演会、ワークショップなどを通して、熊本城の復旧を伝えます。

料金：入館料(大人300円、子ども(小・中学生)100円)

熊本城との共通入園券10月5日より販売開始
熊本城・わくわく座 2館共通入園券
大人600円/子ども(小・中学生)200円
熊本城・わくわく座・熊本博物館 3館共通入園券
大人900円/子ども(小・中学生)300円

熊本市中央区二の丸 1-1-1 096-288-5600
開催時間など詳細はホームページまで



令和元年度 秋冬号

熊本城

～復興に向けて～



←2019年10月5日からの「特別公開」詳細については熊本城特別公開ホームページまで

天守閣

大天守の外観工事がほぼ終了し、1階出口部分と内装工事等を行っています。小天守は石垣復旧が完了し、4階外観復旧工事を行っています。天守閣全ての復旧完了は2021年春を目指しています。



小天守最上階に仮設屋根を設置（令和元年6月25日）



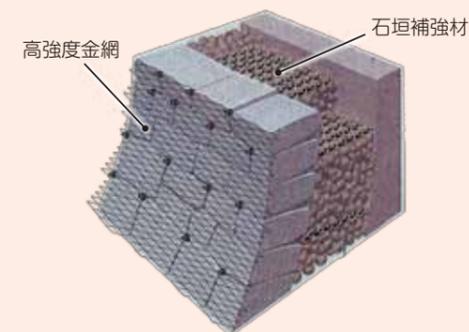
大天守石垣積み直し完了（平成31年1月8日）

小天守石垣構造補強について

小天守入口部は来城者動線が石垣に近接することから地震で崩壊した石垣において、石垣の構造補強を実施し、来城者が安全に通行できるようにしました。補強として、積み直し時に石垣内部に石垣補強材を敷き込み、石垣表面に設置した高強度金網と結束します。（イメージ図）



小天守入口部被災状況（平成28年5月11日）



小天守石垣補強イメージ図



小天守石垣補強材敷き込み状況（平成31年4月22日）

飯田丸五階櫓

石垣の変状した部分の解体が終了し、五階櫓石垣に隠れていた築城当初の石垣が見えています。外側の石垣が積み直されると埋め戻されるので、築城当初の石垣が見られるのは今だけです。熊本市役所14階や長堀通りからも観覧できます。



熊本市役所14階からの風景（令和元年7月4日）



竹の丸から〔南から〕（令和元年6月10日）

長堀（国指定重要文化財）

文化財の価値を損ねないように、できるだけ元の部材を再利用します。地震で折れた石製の控柱^{ひかえばしら}*は、ステンレス製のボルトを入れて、接着剤で接着して補修しました。また、傾いた控柱は立て直しました。夏までは控柱を補強するコンクリート基礎の工事を行い、秋ごろから堀本体の組み立てを行います。

*控柱：堀本体を後ろで支える柱



破損部材の補修作業（平成31年4月18日）



控柱の補修作業（令和元年7月5日）



控柱の補修作業（令和元年8月2日）



堀基礎石設置作業（令和元年8月8日）

平櫓（国指定重要文化財）

櫓復旧に向けて、まず地震により大きく変状した石垣の崩落防止のための、仮設の構台を設置しました。現在、櫓本体の解体保存工事に着手しており、櫓の横に崩落していた石材も回収しました。



石材回収作業（令和元年8月5日）



櫓解体用の足場を設置（令和元年8月22日）

*写真の日は撮影日

熊本地震における熊本城の被災状況

熊本城全体の石垣：973面、約79,000㎡

平成28年4月16日 1時25分「本震 M7.3」

※前震での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破損など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破損など
石垣	崩落・膨らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡(全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡(全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破損など

